

熊本地震支援報告

中越地震・東日本大震災の支援経験から「早く」「直接」「的確」に！

NPO 法人プロジェクト 88

1. **【大学発】** 大学発の開発食品で支援
2. **【要配慮】** 災害時要配慮者対応に特化
3. **【患官民】** 患者団体が支援要請し行政備蓄を NPO・企業が被災患者・病院に直接手渡し
4. **【情報網】** 食物アレルギーは SNS を活用、人工透析は患者団体と連携

支援連携は、(N)米ニケーションセンター、(株)美松、尾西食品(株)、(南)エコ・ライス新潟

1. **【大学発】** 新形質米・新規需要米「米」のバリアフリー性を活用した商品開発

- ・中越地震から開発したアルファ米は新形質米「春陽」を使用し低カリウム化（長岡造形大、長岡高専）
- ・東日本大震災から開発したアレルギーフリーな米粉クッキーは新規需要米を使用（東京家政大学）

2. **【要配慮】** 埋もれてしまう内部障がい者（食物アレルギー、人工透析）に特化した支援

- ・「内部障がい者」は外見上一般人と区別がつかないので救済の手が差し伸べられない
- ・アレルギー食、透析食は、単なる食事ではなく治療の一部（命に関わるが「好き嫌い」と周囲が誤解）
- ・災害発生時「パニック状態」の自治体・避難所で、要配慮者対応は事実上無理、病院も難しい

3. **【患官民】** 被災地からの支援要請を待たず見えないニーズを汲み上げる



4. **【情報網】** 東日本大震災で見つからなかった、対照的な食物アレルギーと透析患者をさがす

- ・**食物アレルギー**：組織化してないバラバラの食物アレルギー親子は避難所で発見するのは困難。親子が声をあげられない状態。SNS を活用して支援情報を発信し、親子や支援者からの SOS を受信
 ※「FACEBOOK」で支援情報を流して、シェアが 3544 件（4/20）で情報拡散してアレルギー情報をゲットした
- ・**透析患者**：組織化している透析患者は、全国腎臓病協議会（全国団体）を通じ、熊本県腎臓病連絡協議会（熊腎協）と連携。透析病院の情報を入手し効率よく支援。熊腎協は大まかな病院までの情報で、透析患者個人の生存などを含めた情報はない。病院で情報収集して熊腎協にフィードバック



新しい支援の形を模索する（「行政とのコラボ」「SNSの活用」）

新潟県報道資料

新潟県
平成28年4月20日
防災局防災企画課

**平成28年（2016年）熊本地震の被災地に
腎疾患患者向け支援物資を送付します**

一般社団法人全国腎臓病協議会からの要請を受け、平成28年（2016年）熊本地震の被災地に下記の物資を送付することとなりました。

- 1 送付する物資**
県で備蓄している腎疾患患者向けアルファ米 4,000食（80箱）
（消化しにくいタンパク質を多く含む、カリウムを低減させたアルファ米）
- 2 輸送方法**
新潟県が手配したトラックにより輸送を行います。
（県と協定を締結している公益社団法人新潟県トラック協会がトラックを調達）
- 3 送付先**
熊本県腎臓病患者連絡協議会（熊本市内）
- 4 その他**
本日15時、新潟県備蓄倉庫で積み込みを行い出発します。現地で車材を受け付けますので、職員の手配に任せてくださるようお願いいたします。

※ 新潟県備蓄倉庫
新潟市西蒲区豊里 12007 新潟県総合高等学校（熊鷹大学校となり）

新潟県備蓄 4000 食を熊腎協へ送付

平成28年4月20日
長岡市危機管理防災本部

人工透析患者用の災害食の支援について

長岡市では一般社団法人全国腎臓病協議会からの人工透析患者への低タンパク、低カリウム災害食支援要請にもとづき、長岡市フロンティアチャレンジ補助金を受けて開発され、市が人工透析患者用として腎臓病患者向けに備蓄している災害備蓄米「はんぷん米」を被災地の支援のため明日4月21日（金）発送します。

配達先：熊本県腎臓病協議会
発送数：700食
救援物資は、(有)エコ・ライス新潟の専売有マナージャーが、車で現地に直接運び、病院の被災者に配布します。

【フロンティアチャレンジ補助金とは】
調査研究やベンチャー企業、自治会等の活用が少ない企業の製品開発などを支援。平成7年度に創設し、地域の企業を支援する補助金は当時、県内市町村で初めて、平成27年度までの21年度で採択企業約144社、304事業。

担当：危機管理防災本部
電話 0258-99-2282

長岡市は700食を民間支援に委託

いいね! コメントする シェアする

百雄さん、Akuri Hyodoさん、他123人

シェア3591件

facebookの発信でアレルギー支援情報を収集

南阿蘇村へ向かう幹線道路は崩壊、旧道の山道はいたるところで裂け落石（4/17）



倒壊した益城町を抜けて南阿蘇村へ向かう



山道は崩れ段差・落石を避けながら進む



南阿蘇村から高森町→山都町の道の落石

支援要請を受けた病院、アレルギー親子に直接届ける



熊本医療センター小児科(4/17)



南阿蘇村のアレルギー児(4/18)



熊本機能病院(4/17)



熊腎協(4/22)

紛れて行方不明になるアレルギー粉ミルクと賞味期限が切れる支援物資(4/20 南阿蘇村)



不足していた粉ミルクも既に溢れている。貴重なアレルギー粉ミルクが一般品に紛れている。



他県自治体からの応援者にアレルギー対応ミルクであるか否かを解説。食の専門家がない。



翌日に賞味期限が切れるパンの山。配られることはなく処分される。

